



みんなで子育て No.4

令和3年度の家庭教育学級が始まりました。

羽島市立福寿小学校 お手伝いアンケート 4月28日(水)～30日(金) 在宅取組型

●目的

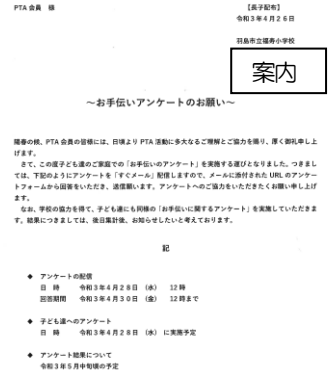
委員長さんが、子ども同士の会話から、お手伝いは「やれ」と言われてやるもの、親の使役としての意識があるのではないかと感じ、お手伝いは何のためのものか、親の思い、子の思いを聞いて親子の話題にしてほしいとの思いから考えられました。

●方法

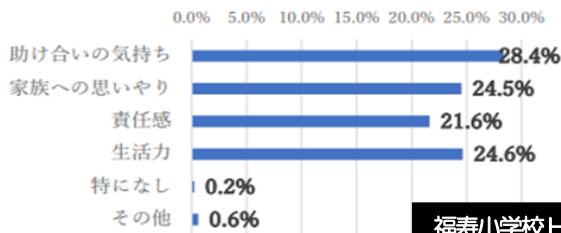
アンケート内容は委員長さんが考え、当初紙ベースで行おうとしましたが、校長先生の助言で、web アンケートにしました。パソコン・タブレット・スマホなどで簡単に回答でき、集計も大変簡単です。

児童用では、3年生以上の児童はタブレットが配られているので、学校で入力する時間を取りました。1・2年生は紙ベースでの実施です。

結果をまとめたものを委員長さんが作成し配布されています。また、集計結果やコメントはHPにも掲載されています。



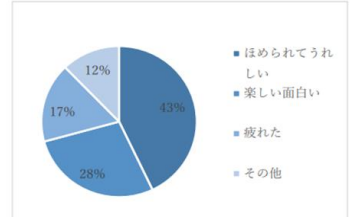
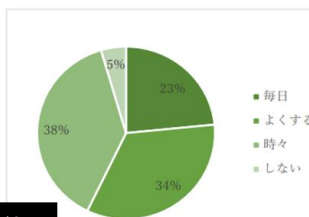
問4) お手伝いを通して身につけて欲しいと思うことはありますか？



福寿小学校HPより

福寿小 PTA ～お手伝いアンケート～ 【児童のみなさん】

1・お手伝いはどれぐらいの頻度でしています？ 2・お手伝いをした時どんな気持ちになりますか？



○お手伝いアンケート調査の報告通信より

・回答 保護者：342人中325人(95%) 児童：464人中419人(90%)
毎日メールを使う習慣(体温、体調を報告)があり、このアンケートの手軽さも手伝っての回答率の高さですね。

・保護者

お手伝いをしてくれている。 → 毎日26%、時々71%
自分で身の回りの事をしている。 → 毎日67%、時々30%

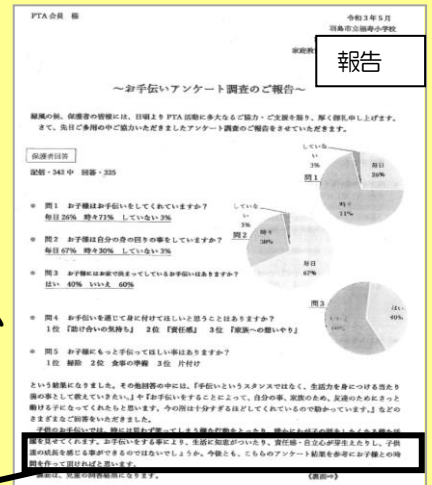
・児童

お手伝いをどれぐらい。 → 毎日23%、よくする34%、時々38%
お手伝いをしたときの気持ち
→ 褒められてうれしい43%、楽しい、面白い28%

その他：お母さんもお父さんも喜んでくれる
自分が大人になった気がしてうれしい、当たり前、もっとしたい
お小遣いをくれるから

よくやるお手伝い

1～2年 1位：料理 2位：お皿洗い 3位：配膳
3～6年 1位：お風呂掃除 2位：トイレ掃除 3位：掃除機



「お手伝いをするにより、生活に知恵がついたり、責任感、自立心が芽生えたりし、子どもの成長を感じる事ができるのではないのでしょうか。今後とも、これらのアンケート結果を参考にお子様との時を作って頂ければと思います。」と書かれてあります。

コメント

今年最初の家庭教育学級は在宅取組型でアンケート実施でした。結果からお手伝いは子どもにとってプラスな意識があることが分かりました。日ごろから子どものことを思いながらお手伝いをさせていることが分かりますね。

また、今回のアンケートは、普段からメールを見る・送る習慣があり、またタブレットを持っていることを有効に使い短期間でありながら95%という素晴らしい回答率でした。学校やPTA活動への関心の高さがうかがえます。新しい方法の実践ですね。



講師 栄養教諭 村上直江 先生



栄養教諭は、給食センターで給食の献立づくりや調理方法の指導、食材の検討等をしています。学校の食育学習で指導をしています。村上先生は、西小学校で「野菜のどこを食べているの?」「大根は根、キャベツは葉」など野菜を学びながら日常の生活へつなげています。

今回は委員長さんから「無添加がよいとよく聞かすが、食品添加物についてちゃんと学んでおきたい」といったニーズに合わせてお話をされました。

●食品添加物についてイメージは?

- ・なんかやだなあ
- ・カップラーメン、冷凍食品
- ・保存性や香り、色を良くする。

○添加物は加工食品を作る際に、品質の安定、保存性をあげるために使用されます。

昔からあるのは、ハムづくりに使われる硝酸塩(岩塩に含まれる)、豆腐のにがり、麺づくりのかんすいなどがあります。科学的に作られた合成添加物もあり、摂取する量が決められており上手に使うことが必要です。

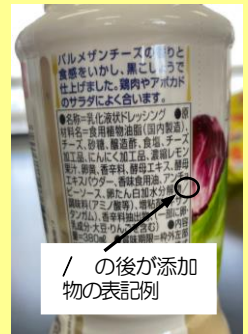
- ・ほうれん草はビタミン・ミネラルが豊富であるが通常ハムに使われる硝酸塩以上の含有量がある。

○無添加について「毎日使うものは無添加にしたい。」

- ・みそ：大豆、塩、こうじのみ
- ・バター：乳と塩 マーガリンには乳化剤が入っている。
- ・給食では無添加のハムを使っていますが色は茶色(醤油・砂糖のみ)
- ・添加物は摂取する量が重要です。食品表示をよく見てみよう。

●給食センターから

- ・地産地消：瑞穂市の給食にはアユがよく出る。
 - 5月：あゆの甘露煮
 - 6月：こあゆのから揚げ(頭と苦いはらわたは取ってある)
 - 7月：瑞穂あゆのハーブ揚げ
 - 10月：あゆの甘露煮
 - 11月：あゆの三枚おろしの唐揚げ
- ・和食の味を味わえるように大きな鍋255L | 300人分×5で作っています。
- ・給食の食器の置く位置・持ち方も食育の一つ。



●質疑応答

Q: 家族がカップラーメンが好きでお腹がすくとすぐ食べる。一週間どれくらいまでなら食べてもいいの?

A: 食べてはいけないとするとストレスになる。カップ麺をがつつく食べるとその栄養素がすべて吸収されやすくなるので、食べる前に野菜をたべたり、チキンをたべることで抑制もできる。岐阜県の「清流の国ぎふ」野菜ファーストプロジェクト(いつもの食事にプラス野菜!皿、食事の一番最初に野菜をたべよう、野菜摂取量全国1位を目指しましょう)を利用することが良いですね。

●参加者の感想

- ・日常的に使っているものに対してもう一度見直すことができました。今後スーパーに行った際にも表示を気にして購入していけたらいいなと思いました。
- ・添加物は体に悪いとか、取りすぎはよくないと思いました。けど、色々な種類や役割もあるんだなと分かりました。添加物と上手に付き合おうと思います



●コメント

委員長さんからの要望で添加物についてのお話は、講師が実物を見せながら、おすすめの醤油やおみそ、バターなどを見ることで、無添加やそれに準じた製品を知ることができました。野菜に含まれる物質や加工食品について学ぶことで、どんな添加物が入っているのかを知ることが必要であり、表示についての興味を高めることができました。

味覚は子どもは敏感であることを大事にして、添加物を少なく、塩分を1食2gに抑えたり、地域の食材を使ったりと給食で工夫されていることを話されることで、食生活に関する学びの多い学級になりました。



羽島市立中央中学校 進路説明会

6月18日(金) 講演会型

中学3年生となると中学卒業後の進路をどうするか具体的な選択が必要になってきます。生徒にとっては初めての進路選択、保護者とともにお話を聞く事ができ、家庭内での話し合いが進むと考えられます。

感染対策として、体育館ではPTAの役員さんが受付で消毒の確認、席は家族ごとで距離を取り、体育館の窓を全開にして、大型扇風機で換気の促進をしています。例年2時間ほどの会ですが1時間と短くしての対応です。



岐南工業高校のドローン映像を見る親子

小川校長先生のお話



1 校長先生より

本日の説明会から親子での話し合いへ。3つの事を大事に
 (1) 苦しみに騙されるな。(2) 選択肢を増やしましょう。
 (3) アンテナを張りましょう。

2 高校の説明

- ・済美高校：パンフレット(QRコード付き)・学校紹介ビデオ 入学後の進路(大学連携・商業科でも進学が多い)・学費のことなど
- ・岐南工業高校：ドローン撮影による校舎紹介・県内唯一の学科・就職の求人が多いことなど。来年度学科名変更。

3 進路指導主事の話

中学3年として、就職の事、進学の話、進路選択、公立・私立の入試手順等。夏の高校見学を今年は実施、個人での申し込み・入試日程が非常に変化してきている。



済美高校のお話

<参加した生徒や保護者の感想>

- ・ドローンを操縦して映像を撮るのがかっこいいなと思いました。
- ・自分は公立1本でいいと思っていましたが入試についてのお話を聞いて考え直そうと思いました。
- ・子どもの興味から本日の高校に関心があり、説明が聞けてよかった。
- ・高校の情報をしっかり得たい。夏の高校見学に参加したい。
- ・夏の高校見学は個人で申し込み、兄の場合は学校を通じてだったので驚いた。
- ・最近の情報は毎年違う。今年の情報を得るためにHPを見なくてはと思いました。



入口の受付・消毒

コメント

この時期、集合しての会を行うことは悩むところですが、必要な対策をして実施されました。保護者の参加も9割近くあり、関心の高さが分かります。

当日は私立・公立各1校のお話を聞く事で高校選択への情報収集の必要性を感じ、夏の高校見学への意識づけになっていると感じました。

高校の決定には多くの情報が必要であり、各校のHPの情報を丁寧に見て個々が確実に確認しておく必要があると感じました。何科があり、入学しても1年後にはどんな選択が必要か、と言ったことまで把握する必要があるようです。

この6月の実施は、進路を考える場となり、子どもの将来・生き方にかかわる大事なスタートとなります。進路は子どもが決めることが重要ですが、初めてのことで不安があるようです。保護者の経験や悩んだこと等を話したり、相談に乗れたりする雰囲気が大事ですね。





みんなのお家受付風景



テラスで親子で食事、気持ちいい



ボランティアさんの調理風景

●「みんなのお家」について

集まることでふれあいが生まれ、誰かのために何かをすることで生きがいを感じ、人と関わることで助け合いにつながることをコンセプトにした地域の拠り所です。子どもから大人まで地域の方々が集える場所を目指し、地域住民の方々と共に「みんなのお家」が創られました。円鏡寺公園の旧売店を改修、目の前は芝生です。

●「子ども食堂」について

地域の子どもや親子等に安価な値段で食事を提供し、多世代のコミュニティの場としての子ども食堂を実施しています。

●子ども食堂 ・メニュー:ちらしずし・肉じゃが・すまし汁・ゼリー ・金額:子ども 100円 大人 300円

メニューはボランティアの皆さんが参加する会議で決めます。基本方針は「おいしく・早く・簡単に」と聞きました。寄付されたジャガイモ、玉ねぎがあるので、まず肉じゃがに決定、梅雨時なので、お酢を使い、ちらしずしという事で決まったそうです。ボランティアの方は10名ほどです。



おいしかった家庭的な食事

●受付:体温チェック、個人情報、アレルギーのチェックを行っています。

参加された方は、乳幼児の親子、高齢者の方もいて、その方達から、「1回目に来ておいしかったから来ました。料理のプロが作るの美味しい。」とか、「屋根付きの外で食べられる雰囲気がいい」「近くに住んでいて毎回参加しています。学生さんが遊んでくれる。」という父子の方、中学生も来ていました。こうやってロコミで広がりそうな雰囲気があります。屋内での食事はアクリル板で仕切られていて、感染対策もされています。

○自治会長さんの支援

この地区の自治会長さんがずっと見ていらっやって、「みんなのお家」が今後どうしていくといいのかも社会福祉協議会の担当者と話されていました。他地区の自治会長さんも来てみえて、グリーンカーテンや周りの環境についても協力・支援されています。

○大学生がボランティア

食事を済ませると子どもは2人の学生さんに遊んでもらっています。保護者や参加者同士の話も弾んでいます。岐阜聖徳学園大学の学生で、ゼミの教授が小学校の学校運営協議会の委員で参加し、自治会長さんからこの活動があることを知り、学生に参加するように進められたとのことでした。10名ほどがメンバーになっています。食事後の片づけも行います。



芝生で遊ぶ子どもと大学生

2時間ほど、小さな子の相手をして走ったり、ボール遊び、バドミントン、フリスビー、水遊びなど休みなく活動しています。子どもは大喜びです。子どもの顔の目線を意識してよく見て、声をかけているのが印象的でした。

●コメント

子ども達が楽しげに遊ぶ姿、保護者が話している姿があり、高齢者もほほえましく見えています。まさに「地域みんなのお家」のようです。自治会長さんたちによる地域の支援・協力が、自分たちの「みんなのお家」を強く感じました。

芝生や水場等の環境がよいこと、食事の作り手の明るさや元気が、また来てみたいと思えます。ここでは「おうちカフェ あ・うん」・「こども広場」・「移動子ども館」等も行われ、まさに地域のコミュニティの役割を發揮しています。

